

区分	品名	形式・寸法	数量	備考	
工具	1	正面フライス	合計 40	2枚刃・多刃エンドミル	
	2	エンドミル			
	3	60° 片角フライス			ダブテール溝加工用
	4	T溝フライス			
	5	ドリル			
	6	センタドリル			
	7	マシンリーマ			
	8	ボーリングバイト			
	9	ドリルチャック	1		
	10	ボーリングヘッド	1		
	11	段つきマンドレル (A) (B)	φ12h6×10×φ14h6×80(有効長)	2	※測定検査工具(2/3)参照
	12	マンドレル (C) (D)	φ14h6×70(有効長)	2	※測定検査工具(2/3)参照
	13	マンドレル (E)	φ12h6×100(有効長)	1	※測定検査工具(2/3)参照
	14	芯だし用マンドレル	形、長さとも適宜	適宜	
	15	アダプタ	ナショナルテーパー50番に合う物	1	注1参照 コレット、スリーブとも
	16	ミーリングチャック		適宜	
	17	クイックチェンジホルダ	ナショナルテーパー50番に合う物	1	
	18	マシンバイス	口金の高さは50mmとする	1	旋回台付きの物は不可
測定具類	19	プラグゲージ	φ12H7用	1	
	20	プラグゲージ	φ14H7用	1	
	21	外側マイクロメータ		適宜	デジタル使用可
	22	デプスマイクロメータ		適宜	デジタル使用可
	23	内側マイクロメータ		適宜	デジタル使用可
	24	三点支持マイクロメータ		適宜	デジタル使用可
	25	ノギス		適宜	デジタル使用可
	26	スケール		1	
	27	スコヤ	脚の長さ100mm~150mm	1	
	28	分度器	ベベルプロトラクタ	1	ベース付き可
	29	測定用コロ	形、長さとも適宜。但し正寸とする	適宜	
	30	ダイヤルゲージ		適宜	ホルダ付き可
	31	ゲージブロック		適宜	
	32	シクネスゲージ		適宜	
	33	リングゲージ		適宜	

区分	品名	形式・寸法	数量	備考	
その 他	34	ケガキ用コンパス	1		
	35	ケガキ用ポンチ	1		
	36	ケガキ針	1		
	37	ハイトゲージ	1		
	38	トースカン	1		
	39	ダンゴ針	1		
	40	スケールホルダ	1		
	41	ササツパ、キサゲ	穴バリ取り用	適宜	
	42	ヤスリ	バリ取り用	適宜	加工したものも可
	43	油砥石		適宜	ハンドラツパも可
	44	ハンマ		適宜	材質は問わない
	45	パラレルブロック	10×20×150mm	1組	
	46	パラレルブロック	10×30×150mm	1組	
	47	パラレルブロック	10×40×150mm	1組	
	48	パラレルブロック	10×45×150mm	1組	
	49	クサビ		1組	工具取り外し用
	50	パイス用当て板、当て棒	六面体・丸・半丸	適宜	材質は問わない
	51	防錆油		適宜	
	52	洗浄油		適宜	フロン、トリクロールエチレンは不可
	53	保護眼鏡		1	必ず着用のこと
	54	安全靴		1	必ず着用のこと
	55	三角関数表		適宜	プログラム付き電卓も可
	56	筆記用具		適宜	マジック等も可
	57	計算用紙		適宜	白紙であること
	58	プライヤ		1	プラグゲージ抜き取り用
	59	ウエス		適宜	
	60	ブラシ		適宜	
	61	ハケ		適宜	
	62	定盤		1	支柱付、ダイヤルゲージ付も可
	63	エアーコンプレッサー		1	
	64	摺動用治具		1	材質・形状は問わない
	65	試し削り材料	35×50×75	1	S45C
	66	その他		適宜	レンチ類、ドライバ類、スパナ類 光明丹、洗油、等

## 公表

## 第48回技能五輪全国大会「フライス盤」職種

### 〔一般注意事項〕

1. アダプタは外テーパ（フライス盤主軸端との接触部分）が、ナショナルテーパ#50（JIS B6101 フライス盤主軸部#50）で内テーパ（工具テーパとの接触部分）は持参工具一覧表の工具が使用できるものとする。クイックチェンジホルダを使用する場合は、アダプタの外テーパはクイックチェンジホルダの内テーパにあうものとする。形式、数量は問わない。
2. アダプタの引きねじの直径は1インチ及び5/8インチとする。
3. 輸送中の破損を考慮して工具及び測定具類の予備品を持参してもよいが、予備品の展開は原則として認めない。異常を発見した場合でも、競技委員の許可を受けてから予備品と交換する。
4. 課題の公表に伴い、本競技課題に専用の工具と見なされる改造を行なったものを使用した場合は、競技委員合議の上、失格とする。
5. 持参工具等一覧表の中で、課題製作上、不必要とされるものは持参しなくてもよい。
6. 加工精度確保を目的としたダイヤルゲージの使用に必要なダイヤルゲージ置き台を取付けてもよい。ただし、競技終了後には必ず元の状態に復帰すること。
7. 保護メガネ、安全靴は必ず着用する。また、延長コード等は切りくずに耐性のあるものを使用する。
8. プログラム電卓を許可しているので、必要なプログラムをあらかじめ入力しておいてもよい。
9. マシンバイスは各自持参すること。バイスの大きさは口金高さ50mmを標準とする。ただし、旋回台付きのバイスの使用は認めない。
10. 切削油は手差し給油程度とする。（機械に付属のポンプによる切削油の給油は認めない。）
11. 第48回大会で使用するフライス盤は、（株）エツキ2MF立形である。

